

接続助詞とは、活用語に接続し、上の文節を下の方節に続ける助詞。

順接 ≡ 上の条件のもとで、順当な結果が起こる。

逆接 ≡ 上の条件のもとで、予想に反した結果が起こる。

仮定条件 ≡ まだ実現していない事柄を仮に想定する。

確定条件 ≡ すでに実現した事柄を前提にする。

順接	ば	て・して・に・を
逆接	と・とも・ど・ども・ものを・ものから・ながら・が	

接続助詞「ば」

- ・未然形に接続
- ・已然形に接続

接続助詞「と・とも・ど・ども」

- ・と、とも ≡
- ・ど、ども ≡

基本問題

- (1) いと幼ければ、籠に入れて養ふ。
- (2) 富士の山を見れば、五月のつこもりに雪いと高つ降りり。
末に
- (3) 夕されば小倉の山に鳴く鹿は今夜は鳴かずに寝にけらしも
夕方になる 寝てしまつたらしいよ
- (4) はかなき疵も打ちつけられなば、よしなし。
少しの 付けられ つまらない
- (5) いみじき過ちをしたりとも、何事の出で来べきぞ。
何事が起ころうか、いや起こりはしない。
- (6) いみじき絵師といへども、筆限りありければ、
筆の力には限度があるので